

諏訪地方の経済概況速報

平成25年7月

(平成25年6月末調査)

平成25年7月25日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【 5月】	諏訪公共職業安定所管内	0.70 倍	△0.01 ポイント
手形交換高【 6月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	4,903 枚	△424 枚
	金 額	5,625 百万円	△382 百万円
	うち不渡り 発生状況	枚 数	6 枚
	金 額	2,548 千円	2,543 千円
電力使用量【 6月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	39,097 MWh	△2.9 %
	高圧電力計	89,756 MWh	0.3 %
	合 計	128,853 MWh	△0.7 %
車庫証明取扱件数【 6月】(諏訪地方合計)		900 件	△16.9 %
新設住宅着工戸数【H25年4月～5月】(諏訪管内)		217 戸	46.6 %

□本文は、当金庫の取引先約 130 社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

6 月の日本経済は、為替や株価、債券相場が乱高下し、輸入材料の値上がりなど不安定な様相を示した。諏訪地域は建設業界に動きが出る一方で、製造業は受注先の影響が強まっている。県内企業の夏ボーナスも様子見傾向で、総体的に景気回復が実感できるまでには至っていない。雇用は新規求人数がやや増えたものの、有効求人倍率は全国や県内水準を下回ったまま推移している。一方、観光面では富士山が世界文化遺産登録に決定し、富士山が眺望できる市町村では新たな観光客誘致への期待が高まっている。

●製造業 「受注先の業況などで業況に差」

自動車部品関連の下請企業は、他業種に比べて受注量は増加傾向だが、技術力などによって業況に差がある。生産の海外シフトの影響に加えて、新規受注分でもコストダウン要請が厳しく、利益確保に苦慮する企業もある。金属部品加工は、エアコン関連などで受注が旺盛な企業の一方、主要取引先からの受注が戻らない企業がある。工作機械などの産業設備は、海外メーカーとの競合は激しいが、自動車関連を中心に持ち直しの動きがある。反面、原油や部品の値上がりの影響は少ない。電気機械関連は特殊基板など付加価値の高い物の受注が増加した。精密機械関連は、受注先の業況によって差が出ている。こうした中、諏訪地方の企業の技術力アピールに向け、トヨタ本社で「新技術・新工法展示商談会」が行われた。輸入材料価格上昇の影響を受ける食料品製造分野は引き続き、急激な円安によるマイナスの影響があり、利益の圧迫が課題となっている。

●商業 「価格転嫁への対応に苦慮」

諏訪地方の 6 月の天候は、月平均気温は高めだったが、降水量は平年並みで 5 月からの少雨多照傾向による雨不足が解消に向かった。一方で、好調だった園芸用品の動きが降雨で止まり、夏物

家電の動きも鈍かった。為替の影響が話題となるため、「消費者には、様々な商材が値上がりしているムードがあり、低価格品への反応が敏感になっている」とする小売店もあった。企業間競争で価格転嫁が難しいことから、特売品の値下げ幅や容量を落としたり、特売回数を減らすケースも見られた。高級輸入品は諏訪地方ではあまり売れていないもよう。このほか、足並みはそろわないが、レジ袋の無料配布を中止する食品スーパーが増加している。自動車販売は、諏訪地方の6月の車庫証明件数(軽自動車除く)が900件と、エコカー補助金効果などがあった前年同月比で183件減少(△16.9%)した。前月比では47件減少(△5.0%)となった。

●観光・サービス業 「外国人宿泊客が好調」

上諏訪温泉の宿泊人数は前年同期比で、一部のホテルは増加したが、総体ではやや減少した。東南アジアを中心としたインバウンドの宿泊が依然好調で、富士山の世界遺産登録で今後の増加が期待される。高級老舗旅館のリニューアル工事も終了した。蓼科・白樺湖など高原の観光地は、施設により来場者数や売上は区々だが、旅行会社との提携や低価格での提供、ネット利用などの取り組みが見られる。新しいイベントに取り組み、情報発信をしている施設は団体客も多く、集客が図られている。富士見高原は索道、ゴルフ場、宿泊、飲食とも来場者が増加傾向で売上も伸びた。諏訪大社の6月の参拝者数は約48千人で、前年同月比約4千人減少(△8.5%)した。

●建設業 「緊急経済対策実行段階で公共工事が急拡大」

市町村の6月の発注工事は建築工事4件、土木工事・下水道工事58件、その他工事21件の合計83件1,344百万円で、前年同月比で件数は14件増加、契約金額は892百万円の増加となった。また、県関係の6月の公共工事(地元業者受注分)は16件、428百万円だった。平成25年4月～6月の累計契約は50件1,742百万円で、前年同期累計比で件数は32件、契約金額は1,310百万円(303.0%)増加した。昨年を上回るペースで受注獲得できる感触を持つ企業が多い。

民間工事は、諏訪地方の5月の新設住宅着工戸数が124戸と前年同月比60戸の増加(93.8%)となった。長野県内の5月の新設住宅着工戸数は1,039戸で、前年同月比25.6%増加した。

●雇用 「前年同月比で新規求人2ヶ月連続増、新規求職6ヶ月連続減」

諏訪地域の5月の有効求人倍率は、前年同月比0.01ポイント減少、前月比0.02ポイント増加の0.70倍となった。全国は0.90倍、長野県は0.85倍と回復傾向を示しているが、諏訪地域は昨年10月から8ヶ月連続で全県や全国の水準と、前年同月比を下回っている。ただ、新規求人(全数)は1,321人で前年同月比50人増加(3.9%)し、2ヶ月連続で上回った。新規求職者数は1,150人で前年同月比73人減少(△6.0%)し、6ヶ月連続の減少となった。業種別の前年同月比の新規求人数は製造業で52.4%、建設業で43.4%増加し、飲食店・宿泊業は47.9%、医療・福祉業は21.6%減少した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は58人で前年同月比19人減少、前月より140人減少した。事業の不振で経営基盤強化に向けて希望退職を募る企業の反面、資本業務提携による設備投資で新規採用を見込む企業など、様々な動きがあった。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	依然減少傾向だが、特殊基板など一部付加価値の高いものに受注増も見られる。
プリンター	受注が止まったままの所もあり、全体的に低調に推移している。
コンタクター・リレー	高速電源切替装置関連の受注はコンピューター用が堅調に推移し、工場用非常用は機種によって異なる傾向がある。

2. 輸送用機械

自動車	自動車部品や車載機械は北米向けが堅調だが、地域企業は技術によって活況と停滞が入り混じる状況となっている。引き続き単価引き下げ要請があり、懸念材料となっている。
ピストンリング・シリンダーライナー	海外生産が主体となり、国内は減産傾向が続くが、最近はやや回復傾向となった所もある。欧州向けのトラック関連は総体的に低調に推移している。
船外機	北米、欧州向けが低調。東南アジア向け2ストロークエンジンも減少傾向になっている。

3. 一般機械

工作機械・専用機	自動車関連を中心に受注が増加傾向だが、大型の工作機械、専用機は海外メーカーとの競合が激しい。依然、原油や部品値上がりの影響も大きい。
搬送用機械	堅調な受注状況で、引き合いもある。原材料高騰の影響で設備投資を抑制する分野もあるが、総体的には堅調に推移する見通しとなっている。
金型	総体的には低調に推移している。
ダイカスト	加工分野や受注先によって区々。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの5月の生産台数は518万台で、前月比7.9%の減少、前年同月比では44.2%の減少となった。5月の出荷台数は国内出荷53万台、海外出荷480万台の合計533万台で、前月比10.0%減少、前年同月比は40.4%減少となっている。 スマートフォンの普及でコンパクトデジカメの需要が減少する状況が続き、地域の下請け企業は受注先の海外シフトの影響も受けている。
レンズ	一部を除き、厳しい状況だが、受注先の業況が回復傾向となり、明るい兆しが見える所もある。

5. 繊維

ニット

端境期のため、先行きの天候などの様子見傾向が強い。海外生産シフトが顕著で、一部サンプルはあるが、秋冬物や定番物の動きは鈍い。

6. 食品

寒天

比較的天候が良かったため、道の駅関係の売上が増加し、和菓子店への売上も好調だった。

味噌

塩麴ブームが終息へ向かい、消費が鈍くなっている上、大豆や米などの原材料の高騰が重なり、厳しい状況が続いた。

7. 製材

諏訪地方の5月の木造住宅着工戸数は103戸で、前年同月に比べ44戸の増加だった。

8. 建設

公共工事

6月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所5件、県施設課関係1件、林道治山工事関係3件、農地整備課6件、長野国道事務所等国関係1件の合計16件で、契約金額は428百万円となった。市町村の6月の発注工事は、建築工事4件617百万円、土木工事及び下水道工事58件、400百万円、その他工事21件、328百万円の合計83件、1,344百万円で、前年同月比で件数は14件、契約金額は892百万円の大幅増となった。2月に成立した2012年度補正予算に基づく緊急経済対策が実行段階に入り、公共工事が急拡大している。工事案件が増加する一方で、材料費の値上がりがあり、収益性の課題も出ている。また、人材や資材の不足も見られ始めている。

民間工事

諏訪地方の5月の新設住宅着工戸数は124戸で、前年同月比では60戸の増加(93.8%)となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は36戸増加の91戸、「貸家」は15戸増加の20戸、「分譲」は7戸増加の11戸となった。平成25年4月と5月の累計は217戸で、前年同期累計比69戸、46.6%の増加となった。一部で消費増税前の駆け込み需要も見られる。また、長野県内の5月の新設住宅着工戸数は1,039戸で、前年同月比25.6%の増加となっている。なお、前年同月比の利用関係別では、「持家」が756戸で31.0%増加、「貸家」は148戸で22.1%減少、「分譲」は130戸で124.1%の増加となった。

9. 商業

衣料	機能性肌着が頭打ち傾向となり、女性用ストールなどの売れ行きが伸びた。夏物はやや苦戦した。
食料品	生鮮関連は肉、魚類を中心に堅調に推移しているが、青果関連は減少傾向。飲料は横這い。
家電製品	全体的に3、4月の反動で低調で、扇風機などの夏物家電の動きも鈍い。
自動車	例年春先から夏までの需要は落ち着く時期。軽自動車の需要は堅調で、新車のほか、中古車の需要もある。
ホームセンター	前半は除草剤や殺虫剤など園芸周辺用品が好調だったが、中盤ごろから降雨の影響で動きが止まった。UV対策の日傘が伸びた所もある。

10. 観光

上諏訪温泉	各施設の宿泊人数は、前年同期比 90%台前半～120%台後半で、修学旅行や年金受給者の旅行の受け入れが、前年より増加した施設がある。夏場にかけての予約は、ほぼ前年並みとなっている。
蓼科・白樺湖・車山等	天候が良く、団体客が増加傾向になっている。バリアフリー施設の設置などで、より多くの誘客に向けた取り組みもある。
下諏訪温泉	宿泊客は土日を中心に、前年同期より増加傾向。万治の石仏の土産物ブースの売上が好調に推移している。
諏訪大社	上社・下社合わせた6月の参拝者数は約48千人。前年同期比では約4千人、8.5%の減少となった。

●企業からのコメント

- ・ 今年の6月は例年の動きと異なる。昨夏は猛暑が長引き、今春は4月まで寒さが長引いて売場が混乱したこともあり、今年の秋冬物の製造に向けた仕込みは、ぎりぎりまで様子見の状況が続いている。(衣料品製造業)
- ・ 道路補修工事を中心に土木関連の入札案件はあるが、アスファルトが高騰して採算確保が難しいため、入札参加を見送ったものもある(建設業)
- ・ 製造業でも世界での地産地消が続き、買い替え需要しかない日本で大企業が製造することは少なくなっている(工作機械製造業)
- ・ メーカーの仕様変更があったが、親会社が新機種の受注ができなかった影響を受けている(自動車関連部品製造業)
- ・ 米国での展示会を視察して、世界最大の消費市場の米国内の景気はかなり上向き傾向と感じた。一方、日本国内は昨年同期よりは上向いているが、依然低調と感じる(専用機械製造業)
- ・ 春先から全体的に生産活動の動きを感じるが、量産物を海外シフトする動きは止められない。円安の影響ではなく、製造の数的増加による本質的な景気回復を望む(精密機械製造業)